

議会だより

2026.1.20

No. 208



山梨県昭和町議会

<https://www.town.showa.yamanashi.jp/site/gikai/>

ひょうわ



変わりゆく昭和町へ 変わらない仲間と

・表題(しょうわ)については

・「常永小学校 6年1組 遠藤 結月(えんどうゆづき)さん」の直筆です。

- ② 政策提言
- ④ 行政視察
- ⑤ 定例会で決まったこと
- ⑥ 委員会代表質問・一般質問
- ⑪ 委員会質疑
- ⑭ 議会トピックス

町民の声を行政へ

町長へ提言書提出

昭和町議会では、より住みやすい町の実現を目指し、毎年町長に提言書を提出しています。今年度も予算編成に入るタイミングで、いまだ実現に至っていない政策を適切に行財政運営に反映されるよう、町長に提言書を提出いたしました。



令和7年度政策提言

事務の効率化と処遇改善

- ①町長の政策を考える組織体制を強化すること。(各課の組織、機能再構築、調整機能など)
- ②各学校の均衡を図ること。(教職員・養護教諭等の配置を含む)
- ③社会情勢にあった条例等の見直しをきめ細かく行うこと。(昭和町各地区長等常設役員設置条例等)

防災対策について

- ①消防団員確保にむけて、町として「統一的な取り決め」をつくり、具体策を示すこと。
- ②避難行動要支援者の個別避難計画を作成し、支援体制を構築すること。
- ③集合地等の見直し、防災標識の設置をすること。

環境整備の充実について

- ①開かれた議会を目指し、定例議会の一般質問について録画配信を行うこと。
- ②DXに対する取り組みをさらに推進すること。
(人材育成、スキルアップ、ペーパーレス化、生成AIの活用等)
- ③駐車場不足の状況があるが、公共施設再編計画の中で早急に検討すること。
- ④通学路の安全確保の改善、整備に取り組むこと。

医療・福祉の支援

- ①交通弱者の利便性の向上と効率的な運行を早期に行うこと。

子育て支援について

- ①学校給食費の無償化を引き続き行うこと。

予算編成

- ①各地区からの土木工事要望には、積極的に対応すること。
(危険箇所、洪水対策、用地寄付の道路拡幅等)

まちづくりにむけて

- ①自治基本条例(まちづくり基本条例)の制定を急ぐこと。
- ②町の玄関口となるJR身延線 国母駅前・常永駅前の整備を検討すること。
- ③中央公民館解体による文化活動を行う拠点の方針を示すこと。
- ④市街化調整区域の整備計画について町独自の方針を示すこと。(農地転用の規制等)
- ⑤公共施設及び都市公園等の運用(指定管理等含む)について調査研究し、財政負担の軽減を図ること。
(プールの冬季運用等)

※町が対応済とした項目についても、不充分と認められるものについては、整理して再度提言しています。

令和6年度議会政策提言に関する対応状況

対応状況の
詳細はこちる▶



区分	項目	担当課	町対応
職事務の効率化と待遇改善	1.町公平委員会を県人事委員会に委託を検討すること。	総務課	困難
	2.職員配置の適正化と労働条件の改善を図ること。	総務課	対応
	3.対話型生成AIの導入を図ること。	情報施設課／総務課	対応
	4.専門的知識を有する人材の採用を進めること。	総務課	対応
	5.採用正規職員と会計年度職員との責任の明確化を図ること。	総務課	対応
防災対策	1.災害時協力協定に基づく、町民への電気自動車又は太陽光発電に関わる住宅用蓄電池に補助金支給を考えること。	企画財政課／環境経済課	一部対応
	2.地域防災計画の見直しを検討すること。(災害時の避難場所や避難方法の周知方法、備蓄品の運搬方法、災害弱者の個別避難計画策定の加速化等)	企画財政課	対応
環境整備の充実	1.町議会のホームページ上での動画配信と庁舎内へのモニター設置を実現すること。	総務課	現状維持
	2.「昭和・玉穂中央通り線」の道路建設と沿線の開発、公共施設及び不足する駐車場について、協議、検討すること。	建設課／情報施設課／都市整備課	一部対応
	3.都市計画道路「中小河原築地新居線」の変更を検討すること。	建設課／都市整備課	一部対応
	4.都市計画マスターplanに示されている国母駅、常永駅、駅前広場、アクセス道路整備による機能強化を図ること。	都市整備課	検討
	5.町主導の地区計画の策定を検討すること。	都市整備課	検討
	6.PFIや指定管理者等民間活力の導入を検討すること。	情報施設課／総務課	一部対応
福祉の支援	1.帯状疱疹予防事業の助成を行うこと。	いきいき健康課	対応
	2.高齢者の事故防止支援策として、踏み間違いをしない器具の補助を実施すること。	企画財政課	対応
	3.デマンド型乗合タクシー(ライドシェアを含む)等、交通弱者の利便性の向上と効率的な運行を早期に行うこと。	福祉介護課／企画財政課／総務課	一部対応
子育て支援	1.公共施設の再編に伴い、子育て世代が安心して生み育てることが出来る環境整備を推進するため、早期に子育て支援センターを設置すること。	子育て支援課／情報施設課／総務課	対応
	2.学校給食費の段階的な無償化を実施すること。	学校教育課	対応
編予成算	1.各地区からの土木工事要望には、積極的に対応すること。 (危険箇所、洪水対策、用地寄付の道路拡幅等)	建設課	対応
	2.打ち切り旅費や会議費などの単価は積極的に見直すこと。	企画財政課／総務課	検討
むづまけくちてりに	1.自治会(区)への加入促進策を実施すること。	企画財政課	対応
	2.自治基本条例(まちづくり基本条例)の制定とその後の体制整備の検討をすること。	総務課	一部対応

山梨学院大学
法学部との連携事業

山梨学院大生による議会への政策提案

開催日 令和7年12月16日(火)

講師 山梨学院大学法学部
秋田辰巳 教授(学長代理・法学部地域連携委員会委員長)
片田 興 教授
アハマド・サジャド 特任准教授

学生たちが昭和町の現状を調査して課題を洗い出し、グループごと自主的に選択した課題に対し、担当課からの聞き取りや先進地の事例等を調査・研究したうえで、町議会に対して、学生の視点から課題解決に向けた政策を提案する政策提案発表を行いました。当日は、3グループに分かれた学生たちが、「子育て世代と高齢者が共生するまちづくり」・「学ぶ・働く・共に過ごす:地域が育む多文化共生」・「昭和町における地域公共交通の充実」といったテーマで、課題に対する解決策を発表し、本町議会議員からの質問にも答えました。



昭和町議会 先進地を行政視察

昭和町議会は、子育て支援センター建設の参考とするため、令和7年11月に山形県の長井市と寒河江市の児童遊戯施設を行政視察し、施設の設置背景や市民意見の取り込み方法、財政面、利用状況などを調査しました。



長井市「くるんと」

●長井市「くるんと」の概要:人口約2.4万人の長井市において、多世代が交流できる屋内型遊戯施設として整備され、図書館や全国展開の喫茶店も併設されている。施設はまちなかの人流活性化を目的としている。

●長井市の施設整備と運営:有識者や子育て団体を含む市民検討委員会で意見を取り入れ、建設費は約41.8億円、指定管理費は年間約1.2億円。利用者は2年で延べ約71万人にのぼる。

●寒河江市の屋内型児童遊戯施設「CLAAPIN SAGAE」:人口約3.9万人の寒河江市では、雨天や冬季も安全に遊べる施設の要望を受け、道の駅チエリーランド内に整備。建設費は約14.9億円で、デジタル田園国家構想交付金を活用。

●寒河江市の市民意見の取り込み:アンケートを通じて子育て世代や保育施設、小中学校の意見を反映し、仕様決定に活用。

●複合施設としての効果:屋内遊戯施設、宿泊施設、道の駅の複合により利用者に相乗効果が生まれ、令和6年度の利用者数は屋内施設で約17万人、チエリーランドで約183万人に達した。

●指定管理者制度の導入:DBO方式(設計・施工・管理)を採用し、地元企業の特別目的会社が指定管理者となり、指定管理料は年間約9,630万円。

●寒河江市総合子どもセンター「ゆめはーと寒河江」の特徴:市役所別館内にあり、規模は昭和町が構想する施設に類似。幼児と小中高学年向けに遊び場を分離し、多様な年齢層に対応している。



ゆめはーと寒河江

背景:CLAAPIN SAGAE

まとめ

図書館やカフェを併設した長井市の施設や寒河江市の複合型遊戯施設など、多世代が交流・憩い・余暇を楽しめる公共施設の重要性が高まる一方、費用負担の検討や地域ニーズ・経済性を踏まえ、本町にはどのような施設が必要かをよく考え、検討していくことの重要性を認識しました。

12月定例会で決まったこと

令和7年12月定例会は、12月4日から12月12日まで9日間の会期で開催しました。条例関係8案件、令和7年度一般会計及び特別会計補正予算関係3案件、諮問関係1案件、その他1案件の計13案件を審議しました。

詳細は2月末更新予定のHPの会議録をご覧ください

案件名	内 容	審議結果
昭和町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件	法改正により、子ども誰でも通園制度を実施するにあたっては設備と運営の基準を定める条例の制定が必要となったもの	可決
昭和町長等及び職員のハラスメントの防止等に関する条例制定の件	町長等及び職員がハラスメントを理解し、お互いの権利を尊重し合う良好な職場環境を整備し、もってハラスメントの防止及び排除に資するため制定するもの	継続審議
昭和町税条例中改正の件	物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整への対応として各種控除の見直しやたばこ税の見直しに対応する改正を行うもの	可決
昭和町職員旅費支給条例中改正の件	国家公務員の旅費制度が見直されたことに伴い、本町職員の旅費や内容についても所要の改正を行うもの	可決
昭和町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件	国家公務員の給与制度及び旅費制度が見直されたことに伴い、本町特別職の職員の旅費や内容についても所要の改正を行うもの	可決
昭和町職員給与条例中改正の件	人事院勧告及び山梨県人事委員会の勧告が行われたことに伴い、本町職員の給与改定を行うもの	可決
昭和町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件	人事院勧告及び山梨県人事委員会の勧告が行われたこと並びに国家公務員の旅費制度が見直されたことに伴い、町議会議員の議員報酬等についても所要の改正を行うもの	修正可決
昭和町会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例中改正の件	人事院勧告及び山梨県人事委員会の勧告が行われたことに伴い、本町会計年度任用職員の給与改定を行うもの	可決
令和7年度昭和町一般会計補正予算(第4号)について	令和7年度の一般会計予算を、歳入・歳出とも2億3147万2千円増額するもの(総額 108億9066万6千円)	可決
令和7年度昭和町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	令和7年度の国民健康保険特別会計予算を、歳入・歳出とも936万9千円増額するもの(総額 18億9464万5千円)	可決
令和7年度昭和町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	令和7年度の介護保険特別会計予算を、歳入・歳出とも330万円増額するもの(総額 11億7188万4千円)	可決
中巨摩地区広域事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更について	中巨摩地区広域事務組合の共同処理する事務を変更し、同組合規約を変更するための協議を行うため議会の議決を求めるもの	可決
人権擁護委員候補者の推薦について	任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦 福田 聖子 氏	適任

継続審議

■昭和町長等及び職員のハラスメントの防止等に関する条例制定の件

小林耐三議員から、最近様々な自治体で取り上げられているカスタマーハラスメントへの対応に関し、今回の条例には町の組織内部でのハラスメントに関する規定のみであり、カスタマーハラスメントへの対応も盛り込んで条例制定すべきとの意見が出され、全会一致で次回の定例会までの間で、継続して審議を行うこととなりました。

修正可決

■昭和町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件

小林耐三議員から、議会議員の費用弁償が支給されていない現状に合わせるための規定の削除のみではなく、審議を尽くしたうえで条例改正すべきであるとの意見が出され、委員会として議案に対する修正案を提出し、採択の結果、全会一致で修正案のとおり可決することとなりました。

委員会代表質問

施策を問う＼ここが聞きたい＼



※質問・答弁はスペースの都合上、要約されています。

※質問内容の詳細を暫定版で公開しています。正式には2月末更新のHP会議録をご覧ください。

Q 昭和町農業振興地域整備計画の見直しを

A 農地保全と作業受託を検討し、令和9年度の計画策定を目指す



産業厚生常任委員会

農業振興地域整備計画の見直しは、近年では平成27年度、及び令和元年度に実施しており、令和元年度計画では各数値の最終見通しは、令和6年、7年としているので、早急に見直しすべきである。今後、どのような農業振興整備計画の見直しを行うのか。



常永地区の農振農用地

町長

優良農地の保全を基本に、計画的な施設整備や高齢化に伴う農作業受託の在り方を検討し、計画を見直していく。また、農用地区域からの除外には慎重に対応しつつ、環境保全型農業への移行や地産地消を推進し、各数値を検証した上で令和9年度の策定を目指していく。

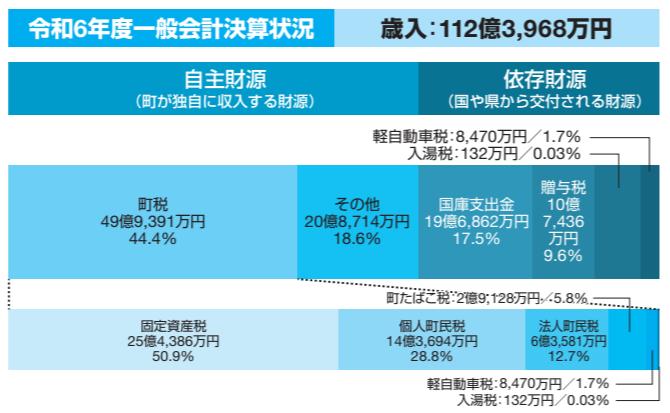
Q 行財政改革の取り組みは?

A 歳入強化と歳出抑制で行財政改革を推進し、持続可能な行政運営を目指す



総務教育常任委員会

災害など不測の事態に備えるためにも必要最低限の基金を確保する必要がある。今後予定される公共施設の建設や老朽化への対応等を考慮しなければならないため、基金の確保に向け行財政改革計画にどのように取り組んでいるのか。



町長

財政は厳しいが、補助金活用やふるさと納税強化で歳入を確保し、DX推進やLED導入等でコストを削減し、行財政改革を推進していく。これらの取り組みを継続し、一般財政調整基金の確保と持続可能な町運営を目指していく。

Q スポーツ少年団の今後のあり方は?

A 現状の課題を支援しつつ、キャメリア等と連携し体制を構築する



昭和剣道スポーツ少年団の子どもたち

植竹 由美 議員

スポーツ少年団は、子どもたちの健全育成と地域スポーツの振興に大きく貢献してきたが、団員数や指導者の減少、そして保護者の負担増等、課題がある。また、学校部活動の地域移行を進める中で、キャメリアとの連携と、スポーツ少年団の役割や位置づけを改めて整理する必要があり、スポーツ少年団の現状と課題、今後の方向性について聞く。



教育長

スポーツ少年団は教育的意義が大きい一方、少子化や指導者不足、保護者負担が課題である。対策としては補助金や広報の団員募集で支援を行っている。部活動の地域移行においては、総合型クラブ「キャメリア」を中心に、少年団も受け皿の一つとして連携を図っていく。次期スポーツ推進計画の策定を通じ、関係機関が密に連携した体制構築に努めていく。

Q 小中学生のオンラインカジノ等の対策及び指導は?

A 啓発資料配布や家庭連携を強化し、情報リテラシー教育を推進する

植竹 由美 議員

SNS等の普及により、小中学生がオンラインカジノやギャンブル系アプリへ容易にアクセスし、借金や依存に陥る社会問題が発生している。これを受け、町による若年層の状況把握や警察等との連携、学校での情報モラル教育の現状を問う。また、誘惑から子どもを守る啓発活動や、家庭・地域と連携したリテラシー教育の推進策を聞きたい。

教育長

オンラインカジノは犯罪に該当し、国や警察も注意喚起を行っている。本町で補導事例はないが、県教材を活用した情報モラル教育や、専門家による講演会を通じ、ネット依存等の防止に努めている。今後は啓発資料の配布やフィルタリング、家庭内ルールの推奨を強化し、関係機関と連携して子どもを守るリテラシー教育を推進する。



Q 昭和町の人口ビジョンは?

A 子育て支援や行政DX等を推進し、持続可能な町づくりに努めていく



保坂 貴子 議員

人口減少が進む中、本町は2040年に約22,400人と増加が推計されるが、長期的には減少局面が予想される。県が地域の崩壊等の懸念を示す中、本町として将来の人口構成をどう見通し、若年層の定住促進や子育て支援、高齢化へどう対応するのか。「昭和町第7次総合計画」等を踏まえた今後の人団ビジョンと対策を町長に聞きたい。



町長

本町は令和13年に人口22,000人を見込むが、長期的課題を見据え総合的な施策を継続していく。また、給食費無償化や子育て支援センター整備等で子育て世代の定住を促し、自治会活性化や商工振興、行政DXの推進により地域・産業・行政の持続性を確保する。今後も人口変化に柔軟に対応し、計画的な施策推進で持続可能な町づくりに努めていく。

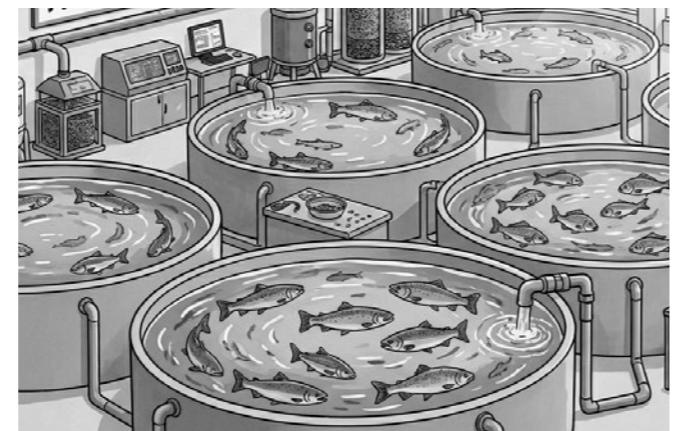
Q 海のない昭和町で陸上養殖による漁業を

A 国が成長産業として位置づけており、今後の技術進展を注視する



永井 敏男 議員

海のない本町で、岡山理科大学が開発した「好適環境水」による陸上養殖の導入を提案する。このシステムは淡水に少量の成分を加えるだけで、海水魚の高速成長や屋内での過密飼育を可能にする。立地を選ばずブランド魚を生産できるメリットは大きく、産業振興の観点から導入企業の誘致を調査・検討すべきだと考えるが、町長の見解は。



町長

「好適環境水」を用いた陸上養殖は、他県での連携実験や国も成長産業に位置づけ、陸上養殖に力を入れている。県内では「富士の介」など淡水魚養殖が盛んだが、本技術についても他地域の事例や技術進展を注視していく。今後、相談等があれば対応していくたい。

Q 農業従事者の安全を担保する補助制度の創設を

A 事故防止は重要課題であり、公平性等を考慮し支援策を検討する



トラクターによる農作業風景

野沢 敬夫 議員

農業従事者の高齢化が進む中、農作業中の事故防止は喫緊の課題である。他自治体では共済掛金の補助や安全装備の導入助成が行われているが、本町には独自の制度がない。事故を未然に防ぐ「安全投資」として、共済加入の支援や後方モニター等の装備導入への補助、実践的な安全講習の開催を検討し、安全を担保する制度を創設すべきでは。



町長

本町でも農作業中の事故防止は重要課題と認識している。農作業中傷害共済への加入支援や安全装備への補助は、農業者の安心に繋がる一方、公平性や財源の観点から慎重な検討が必要である。今後は関係者の意見を聞きつつ必要な対策を検討し、県の安全研修会等周知しながら、高齢農業者が安全に作業できる環境づくりに取り組んでいく。

Q 高齢者移動手段確保事業実証実験の結果と今後の方針は?

A 一定の需要と効果を確認した。令和8年度の本格運用を検討する

実証満足度調査 アンケート結果

本事業に対する評価として、「満足」「非常に満足」という声は51%という結果となった。逆に「不満」「非常に不満」という声は9%でした。

実験についての満足度	割合
非常に満足	17%
満足	34%
どちらともいえない	28%
不満	8%
非常に不満	1%
無回答	13%



町長

今澤 幸広 議員

本町では高齢者の移動手段確保や事故防止、免許返納促進を目的に、本年7月から3か月間、タクシー運賃を助成する実証実験を実施した。この結果を踏まえ、利用者からの評価や浮き彫りになった課題、採算性の検証状況はどうなっているか。また、これらのニーズ把握の結果を受け、今後の本格運用に向けた具体的な方針を聞きたい。

Q 粗大ごみの再利用促進のため、民間企業との連携協定を

A 他自治体の事例も注視しつつ、資源リサイクルの推進に努めていく



長田 信夫 議員

本町では毎年大量の粗大ごみが発生しており、その中には再利用可能な物も多い。都留市等の事例では、民間企業と連携しネット上で不用品を売却・譲渡する仕組みを導入し、処分費削減と意識啓発に繋げている。財政負担も少なくなるので、本町も持続可能な社会の実現に向け、民間協定を締結し再利用の促進とごみ減量を図るべきだが、町長の考えは。



リサイクルできるものもあるのでは

町長

現在は不法投棄防止のため総合体育馆での拠点回収を定着させており、小型家電等の分別収集で再利用を図っている。議員提案の民間連携による再利用の仕組みは有効な方策の一つと認識しており、今後は年度末等の転出時期を中心に、廃棄前の再利用検討を広報周知しながら、他自治体の事例も注視し、引き続き資源リサイクルの推進に努めていく。

かんさの部屋

【監査委員とは】

地方自治法で設置が義務付けられており、自治体が行う事業の予算が適正に執行されているかを調査する機関です。今回は、令和7年8月から10月までの出納検査での小林代表監査委員・小林耐三監査委員からの質疑の一部を掲載します。

8月例月出納検査指摘・要望事項(令和7年度7月分:一部抜粋)

《一般会計・特別会計》

会計管理者:【8月の要望に対する回答】以前から議会の委員会等でも質問をいただいている。担当課も今後の検討課題としていくとのこと。

10月例月出納検査指摘・要望事項(令和7年度9月分:一部抜粋)

《下水道事業会計》

監査委員:下水道受益者負担金を「不納欠損」として処理できるのか。

下水道課長:地方自治法第236条第1項第2項の根拠において不納欠損処理をしている。土地の名義や、相続の関係で現在土地を使用している方による支払いが出来ないとのこと。

《一般会計・特別会計》

監査委員:歳出月計表「特別旅費」執行率133%で、差引残高△4万円になっているがどういうものか。

会計管理者:災害協定に基づく派遣要請で牧之原市に行くことになり、旅費は増額禁止科目であるが、旅費全体としては予算があるため支払いをしたもの。特別旅費と普通旅費との流用の電算操作は出来ないためマイナスになっている。

監査委員:【要望】金額がマイナスとして出てくるのはどうなのか。予算以上の執行になることになるので、細節別での流用も出来るように考えてほしい。

下水道課長:工事発注時、工事費の積算は下水道課職員が

12月定例会委員会質疑

質問・回答は
要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



産業厚生常任委員会

有休田の再生及び「乾田直播」の耕作

保坂議員 県は水田の再生を図り、夏の高温でも品質が落ちにくい米の栽培を推奨している。また、農業担い手不足を補うため「乾田直播」に省力化コスト削減等を期待しているが、本町の取り組みは。

環境経済課長 県の推奨する米の栽培については農協や農業者の意見を聞いて検討する。「乾田直播」については、中央市の農業法人で行なわれているので状況を注視したい。

アルミ缶等リサイクル資源の持去り

野沢議員 リサイクル資源の買取価格高騰により収集小屋から持去る事象が発生し、他自治体では条例制定を行う所も出てきているが、本町での実態は。



環境経済課長 各地区のリサイクルセンターに設置された防犯カメラの映像で警察に連絡、当該者が判明し、指導した。引き続き警察と連携し防止に努めたい。

グリーンベルトの設置

長田議員 グリーンベルトの試験的設置と予算の計上は。

建設課長 通学路点検等で、設置箇所の選定を行い、令和8年1月に発注予定である。学校側でも予算を持っており、設置箇所の確定を待って、不足分は交通安全、道路維持予算で対応する方針である。

道路の区画線

今澤委員 町内道路の区画線(白線)が消え、雨天や夜間に危険性が高まっている。現状の把握と点検

体制、安全対策の検討状況、区画線再設置の優先順位等は。

建設課長 区画線が消えている箇所が複数あり、職員の巡回、地区からの要望等により、緊急を要する箇所は緊急対応し、それ以外は、経費削減のためにある程度一括発注を行っている。



障がい児登下校支援

保坂議員 障がい児の登下校にヘルパーが同行する事業が政令・中核市を中心に行なわれている。本町の状況と対応は。

福祉介護課長 現行では、通学に関わるサービスは提供できない。移動支援事業については保護者の状況により相談に柔軟に対応している。今後県央ネットやまなしなどに問題提起していきたい。

昭和町高齢者補聴器購入助成金の交付要領

今澤委員 補聴器の補助制度には諸条件があるものの、65歳以上の高齢者とされている。対象年齢を18歳からに拡大することが可能か。

福祉介護課長 18歳以上の耳の聞こえに不自由な方に対しても、他の自治体が実施していることも踏まえ、検討していきたい。

自己負担上限額管理票の有効期限の事前通知

永井委員 医療費助成制度(指定難病等)を利用する際に自己負担額を月額上限額まで管理するための書類の有効期限を失念してしまうことがないように、期限が来る前に事前の通知が出来ないか。

福祉介護課長 受給者証とあわせて渡しており、本人に自己管理をもらっているが、今後、窓口に来庁された方の状況を聞いて対応する。

総務教育常任委員会

コミュニティスクール・安全健康部会

保坂委員 町内3小学校のコミュニティスクール組織の安全健康部会の設置や運営について、町として共通の基準などを設けているのか。

学校教育課長 各校、各部会の設置や運営には、町として共通の基準や決め事は設けていない。それぞれの学校の状況に応じた運営が行なわれている。

地域クラブ活動及びスポーツ少年団の指導者確保

植竹委員 山梨県では、スポカルやまなし(やまなし地域クラブ等人材バンク)の事業で、指導者の募集、登録、マッチングに繋ぎ、指導者確保のツールとなっているが、本町では、このような指導者募集や登録はあるのか。また、現在の募集に加え、ホームページやQRコード付きのチラシ等、多くの手段をもって人材確保を考慮しているか。

生涯学習課長 現在のところ、山梨県のスポカルやまなしのような募集は行なわれずに、地域の人とのつながりの中で指導者確保ができている。

特定親族特別控除に関する税条例の改正

井口議員 特定親族特別控除(年収の壁)に関する税条例の改正は、町民も所得税がかからない範囲への関心が高い。大学生などどのように変更点を周知・案内するのか。

税務課長 HPへの掲載案内を検討しており、準備が整い次第、掲載予定である。



リニューアルした広報誌

河住議員 広報紙のリニューアルがあり新しい形態になったが、町民からの評価や反響はどうか。

企画財政課長 11月号から左閉じの横書きになりパンチ穴がなくなったことで、今まで通り閉じることができず使いづらいというご意見があった一方、カレンダーが見やすくなった等のご意見があった。また、特集記事が見やすくなったという意見があった。

消防団員の家族ねぎらい事業

野沢委員 本年度から消防団員確保の一環として、家族ねぎらい事業を検討しているが、その後の検討する。

討状況は。

企画財政課長 昨年から検討を始めており、要綱の制定は今年度中と考えている。今年度の退団者からが対象で制度設計をし、消防団幹部との最終的な協議を終えており、審査等を経て制定を目指す。

消防団活動に、退団者の動員は

長田委員 防犯診断時に人員不足の際に、退団者が動員され協力した実例があり、退団者の協力を消防団活動として扱うのか。

企画財政課長 防犯診断は、消防団活動の一環であり、確かに人員の少ない部では、OBの協力を得ているところもある。消防団幹部と協議をして、必要があれば検討していく。

公会堂のAED設置

金丸議員 公会堂等で開催される各種教室や行事への参加者が多いため、会場(公会堂)にAEDを設置したらどうか。

企画財政課長 コンビニ等へのAED設置事業があり、公会堂のAED導入について、区長会の意見を聞き検討を進めたい。



昭和町主要大型事業プロジェクト

野沢委員 町長が示された大型プロジェクトのうち、寄贈された鮎川邸の家屋は子育て支援センターが出来るまでの間、ファミリーサポートセンターとして活用することだが、子育て支援センター完成後の鮎川邸の利用方法の検討は行っているのか。また、子育て支援センターの供用開始時期はいつ頃なのか。

総務課長 子育て、文化、地域交流、福祉など多様な可能性が考えられることから、柔軟な視点で検討するため若手職員を中心にチームを立ち上げ、地域のニーズ、施設の特性を踏まえながら活用方法を検討する。

副町長 令和10年度中の供用を目指している。

「議会だより しょうわ」を 読んでみて

モニターさんからの意見集



昭和町議会では、議会モニターのみなさんに議会だよりに関するアンケートへご協力をいただいています。今回は「議会だより しょわNo.207」について、議会モニターのみなさんからいただいた貴重なご意見等をいくつか紹介させていただきます。

議会だよりしょわNo.207について、こんな意見をいただきました。(一部掲載)

「子育て支援センター」について

- ・建設計画には大いに関心を持っているが、詳細は今後の検討にゆだねる部分が多い。進捗状況を報告してほしい。
- ・平成29年から検討されているが、補正予算の可決は本年9月である。一般質問もされているが、マスタープランが出ていない。いつまでに完成するのか見通しが立っていない。いつまでに完成するのか早急に決定してほしい。

決算審査特別委員会質疑について

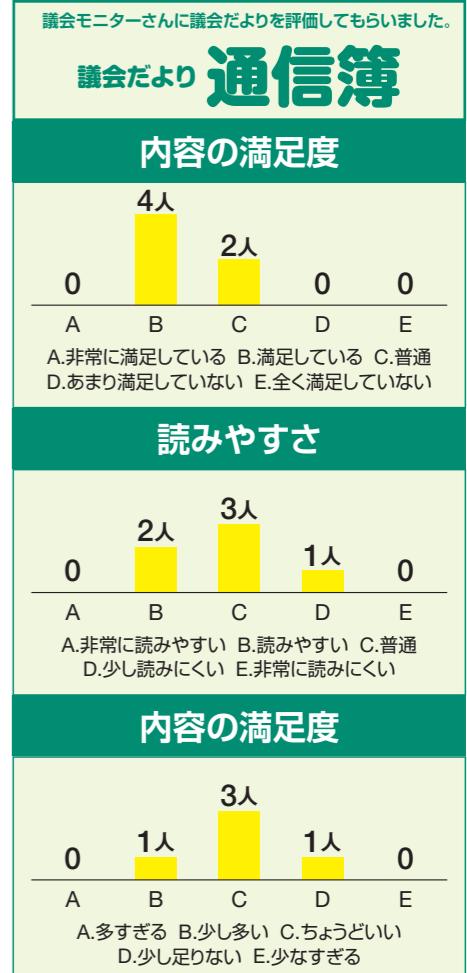
- ・委員会質疑はとても大切で身近な内容も多いので、もっと多くてもよい。

委員会質疑について

- ・身近な内容が多く、議会だよりの中心としてとても大事。活動する議員の動向が分かる。
- ・議会と議員の活動状況が分かる。委員会質疑は身近な問題なので分かりやすい。
- ・河川清掃は足場も悪く、けがの無いように慎重に作業しているが、雑草や泥を取り除くのは大変な作業。高齢化が進む中継続できるかが心配である。早期の対応を期待する。

その他

- ・議会クイズは必要か。(回答に感想を添えていただいている。)
- ・研修会や議会見学の記事と議会の動きの記事のスペース分量は逆で良い。
- ・生成AI活用ガイドラインの中身が分からぬ。注釈が必要ではないか。
- ・条例が変更されていないが、プール利用料金の改定はいつ決まったのか。
- ・町の取り組み、優先されている事業は何かなど分かりやすかった。今後も関心を持っていきたい。



議会だよりNo.206号の表紙で、
西条小学校の児童が植えた稻が
収穫時期を迎えて稲刈りを行いました。

議会だよりに写真を載せてみませんか?

身近な行事等の写真を、
キャプションをつけてメールでお寄せください。
採用された方には、わずかばかりのお礼を差し上げます。
※写真に写っている方の肖像権等にはご配慮願います。
送付先 gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp



とったどー!

議会トピックス 委員会活動報告



昭和町議会の全日程表は[こちら](#)▲

高根クラインガルデンを視察

令和7年10月23日、本町における農業振興の参考とするため、「高根クラインガルデン」を視察しました。

クラインガルデンとは、小規模な農地区画と滞在するための施設をセットにして貸し出す仕組みの事です。「農業体験・余暇活動」と「滞在施設」という二面を持ちますが、農振用地区域に導入するには、この「滞在施設」が問題となります。

当日は、事業を始めた目的や背景、法令等の規制があるのか、現在の利用状況、農地の所有権の問題、運営資金の捻出方法などの話を聞くことができました。



文化財審議会との意見交換

令和7年11月17日、文化財審議委員の皆様と議員で意見交換を行いました。

本町の文化財は、県指定が1件、町指定が9件、合わせて10件の文化財がありますが、中でも源義清公の館跡(義清神社)と杉浦家住宅(杉浦醫院)を中心に話し合いが行われました。

意見交換には、教育委員会から生涯学習課の職員にも参加してもらい、杉浦醫院の改修計画に関する説明を受けながら、文化財審議会としての今後の方針等に関し、意見交換を行いました。



議員研修会(公会計)

令和7年12月17日、下水道事業特別会計が公営企業会計に移行したことにより、公会計に関する理解を深めるため、議員研修を行いました。

有識者である本町議会の井口議員から「自治体の限られた財政運営と将来を見据えた公共施設のあり方」をテーマに講義が行なわれ、行財政の具体的な事例を交えながら、町職員とも意見交換を行いました。



井口 正 議員 (筑波大学大学院 博士前期課程修了／同大学 税法研究会所属)

議会クイズ

次の問い合わせください。

Q 子育て支援センターの視察は
何県に行ったでしょう?

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。



No.207に
対する

こんなご意見をいただきました!

図書館の児童書が1100冊増えたようですが、あまり実感がありませんでした。小学生に人気のある本などもほとんど見かけないので今後増えていくことを願っています。

(38歳・女性)

出産後まもなく他県から移り住み20年以上経過しましたが、一番心細かった初めての子育てを支えてくれたのが児童館でした。先生に相談に乗ってもらったり同世代の友達と雨の日も楽しく遊べたり、何よりママ友か何人もできて今も付き合いが続いている事に感謝しています。皆が利用したくなるような素敵な子育て支援センターが完成するのを祈ります!

(55歳・女性)

とても細部にわたり町民のために活動している事がよくわかりました。特に温泉時間の制限と送迎バスの再開についての質問は私達高齢者の立場から関心があり、一日も早く前向きな検討を期待しています。

(88歳・男性)

議会モニターさんの存在は、以前からわかつていませんでしたが、議会より通信簿を拝見すると、4人ということでしょうか。せめて10人くらいでも良いのではないかでしょうか。もっと、より良い議会だよりが出来上かると思います。

(66歳・女性)

表紙にもありました「ふるさとふれあい祭り」。私自身が小学校のときに参加したのを懐かしく感じました。この盛り上がりが続いてほしいと思います。

(25歳・女性)

朝、散歩中にすれ違った議員さん、土日、忙しいとファミサポさんとして子育てを助けてくれる議員さん、知ってる方が活躍している姿を知ることの出来る貴重な広報誌です。何かと住みやすさや子育てのしやすさについての意見を聞いて、まるで母のようにお話を聞いてくださる議員さんか、私たちのお話をなから一般質問として扱ってくださる姿を見ると嬉しく思います。これからもよりよい昭和町になりますように。

(34歳・女性)

小中学校の水泳教室は温水プールの活用も含めて命を守るために、体力向上のためにもぜひ実施し続けてもらいたい。

(36歳・女性)

空き家対策については全国的な課題だが、農地から宅地への転用も踏まえ、若者世代が定住できる大胆な環境整備が不可欠だと思います。

(37歳・男性)

読者の声が多数記載されているのがいいです。ここを読んで自分と共感する人かいたり、自分では気づかない点を指摘したりして、とても勉強になります。

(52歳・男性)

子育て支援センター建設楽しみです。

(37歳・男性)

ご意見をいただいた方には
個別に回答させていただいている。

【応募方法】

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)
- ④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お願いいたします。

No.207のクイズの答え

第34回

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX:055-275-0370
- メール
gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》2月末日 消印有効



メールに移動



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

Vol. 71

昭和町に

住んでみて



築地新居区
すぎやま よしか
杉山 佳可 さん

暮らしの中で育まれる、
昭和町とのつながり

昭和町に引っ越してきて、気づけば12年が経ちました。引っ越してきた当初は、新しい土地での暮らしに少なからず不安もありましたが、ご近所の方々から気さくに声をかけていただき、さまざまな心遣いに触れる中で、少しずつこの土地に馴染んでいくことができました。快く受け入れてくださった地域の皆さんには、今も感謝の気持ちを抱いています。

挨拶や声かけが自然に交わされ、地域のつながりが大切に受け継がれていることを、日々の暮らしの中で実感しています。また、PTA活動や地域行事に加え、子どもを通じた関わりに限らず、さまざまな場面で支え合う姿に触れるたび、この町の人の温かさを感じてきました。

今年は事業の拠点も昭和町へ移し、仕事の面でも地域との関わりがより深まりました。暮らしと仕事の両面から昭和町に関わりながら、この街の温かい人柄に育まれ、子どもたちが健やかに成長していくことを願っています。



押越区
いしはら るな
石原 瑞愛 さん

生まれ育った「街」昭和

20年前、私は昭和町に生を受けた。幼い頃から現在まで、ずっと昭和町に住んでいる。私が保育園に通っていた頃、昭和町にイオンモールができた。幼いながらも、自分の住む街が発展して行くかもしれないという期待に胸をふくらませていたことを、今でも覚えている。現在、当時の私の期待通り住宅が次々と建設され、昭和町はとても活き活きとした街だと感じる。それと同時に、自然が豊かな昭和町を守っていきたいとも感じる。

そんな私も、昭和町と共に成長し、今年で20歳の節目を迎えた。生まれ育った昭和町で成人式を迎えられることに、喜びを感じる今日この頃。大人になった今、車を運転しながら昭和町を見てみると、自分の住む街の美しさに驚くことがある。私は特に、昭和町立図書館の横にある花壇が気に入っている。昭和町の環境美化に取り組んでくださっている方々に感謝し、昭和町民としての誇りを持ってこれからも過ごしていきたいと思う。

編集後記

輝かしい新春を迎えるにあたり、町民の皆様には、謹んでお慶びを申し上げます。
皆様には、議会運営並びに議会だよりへのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本号より、右と左に変更になりました。委員一同、昨年12月定例会の審議内容や議会の動きを分かりやすくお伝えできるよう、紙面の構成や表現の精度向上に努めました。

本年は、「前進と勢い」を象徴とする年です。広報編集常任委員会では、本年も皆様の声を大切に、より信頼される紙面づくりを進めて参ります。(今村)

広報編集常任委員会

野澤 敬夫・保坂 貴子・今村 力・植竹 由美・永井 敏男・井口 正

議会を?
傍聴しませんか

次回定例会は

3月4日(水) 開催予定

本会議・一般質問 …… 3月4日
委員会 …… 3月5日

【お問い合わせ】☎275-8842 (議会事務局)

■発行人
議長 海野 豊
■編集
広報編集常任委員会
印刷 株式会社サンニチ印刷
■発行
山梨県昭和町議会
〒409-3880
山梨県中日摩郡昭和町押越542-2

TEL.055-275-8842 (直通)
TEL.055-275-2111 (代)
FAX.055-275-0370

